

浮遊植物

子株で大量に増えて水利施設に押し寄せる

発行/2022年3月改訂 農林水産省農村振興局鳥獣対策・農村環境課

■ ホテイアオイ 重



浮囊で浮く。(写真は5月)

高さ0.1~1.5m
葉の浮囊で浮かぶ。
薄紫色の花をつける。



満開になっていた。(写真は9月)



■ ミズアオイ

近縁の準絶滅危惧種であり保全が必要。環境の変化で激減した。花は青紫色で葉の浮囊は発達しない。

■ ボタンウキクサ 特 緊



実生。(写真は9月)

高さ0.3m
ビロード状の毛が密生し、
水をはじいて浮かぶ。



開花中。(写真は6月)



■ アマゾンチカガミ 重

流通名: アマゾンフロッグビット

類似の外来種。一面に繁茂することがあり、被害を及ぼす恐れがある。葉に毛がなく、斑が入ることがある。

このような被害が出ます!!

通水障害!

取水量低下!

5~7月に用水機の取水口に
ボタンウキクサが溜まり、
取水量が低下。(写真は12月)

樋門の開閉障害!

9~10月にホテイアオイの繁茂により、
放水路下流の防潮樋門の通水阻害や、
水田の水没のおそれが発生。

排水能力低下!

ホテイアオイの繁茂により、樋門が開閉できなくなり、排水機能が
阻害され、溢れた水で道路や田んぼが冠水した。(写真は8月)

特 (特定外来生物)は、外来生物法により、飼育・栽培、運搬、保管、野外に放つ・植える・撒くなどが禁止されています。

緊 (緊急対策外来種)は、生態系被害防止外来種リストのカテゴリ区分で、対策の緊急性が高く、積極的に防除を行う必要がある外来種、

総 (総合対策外来種)は、総合的に対策が必要な外来種です。

詳しくは、日本の外来種対策 <http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html> をご覧ください。

● 生育環境：池沼、河川、水路、水田、湿地、富栄養化の進んだ湖沼



沈水植物(写真はオオカナダモ)の上で
繁茂するポタンウキクサ。(写真は12月)



用水路の抽水植物の周りで、他の植物等に絡まって定住、
繁殖するポタンウキクサ。(写真は12月)

● 繁殖方法：種子繁殖のほか、走出枝を伸ばして子株を形成し繁殖



関東地方では4月頃から生育を開始。次々と子株を増やし、
夏には一気に増殖して、1個の親から数千個にもなる。
種子からも増える。(写真は12月下旬のホテイアオイ)



角野康郎(1996)ホテイアオイ、百万ドルの雑草(井上健編)植物の生き残り戦略.
平凡社自然叢書31.の記述等を基に作図.

● 対策

- 生育量が少ない時期に除去する。
- 引っかけやすい環境を減らす。



重機による排水路でのホテイアオイの除去作業。(写真は8月)



ホテイアオイの流出防止のために
河川に設置されているオイルフェンス。

本資料に対するお問い合わせ

北海道開発局農業振興課 011-700-6768
東北農政局農村環境課 022-221-6256
関東農政局農村環境課 048-740-0515

北陸農政局農村環境課 076-232-4533
東海農政局農村環境課 052-223-4631
近畿農政局農村環境課 075-414-9052

中国四国農政局農村環境課 086-224-9417
九州農政局農村環境課 096-300-6436
沖縄総合事務局農村振興課 098-866-1652

農林水産省農村振興局鳥獣対策・農村環境課 03-3502-6091